

Up リフォーム

リフォーム後 事務所



2×4の事務所兼常設モデルルーム

沖縄では、RC造の陸屋根住宅をよく見かける。今回は、設計施工業者が自宅に事務所兼モデルルームを2×4（ツー・バイ・フォー）で増築した例を紹介する。木造のよさを十分に生かした個性的な外観を持つ住宅が仕上がった。

～2×4で二度目のリフォーム～

RCと木造のユニークな コンビネーション住宅

リフォーム後 書斎



おしゃれなクロスと出窓がつくる明るい空間。三角屋根のこう配部分も室内の変化の一つ

十年前、当時築約九年のRC造平屋の建て売り住宅を購入。入居時に2×4（ツー・バイ・フォー）で二、三階部分を増築した。今回は、手狭になった会社事務所を自宅二階に移転させ、職住接近を図るとともに、2×4の構造を常時、見学できるモデルルームの必要性を感じていたことなどから、ペランダとして利用

施主の要望

リフォーム後 外観



築二十年くらいのRC住宅の上に、2×4で増築。RCと木造のユニークなコンビネーション住宅ができた

用していた残りのスペースに、さらに2×4で増築することにした。ちょうど公庫の金利も低かったことから、増築に踏み切ることになった。

施工のポイント

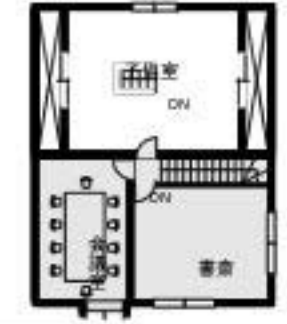
十年前の増築が2×4で行われていたこと、2×4のモデルルームを兼ねた事務所であることなどから、特徴が分かるような造りを心がけた。

駆体には防虫効果の高いヒバ材を使用することで、薬剤の散布を極力避けることができた。工期短縮を図るため、工場で裁断した木材とパネル化された壁材を現場で組み立てる方法を取った。二、三階部分の増築ということもあって、材料を二階に上げてから作業しなければならぬので、工場からの木材とパネルの運搬は、人件費の削減にもつながった。配屋根の住宅を採用したことで、屋根裏に人が

リフォーム後 2階



リフォーム後 3階



《DATA》

- 工事期間：約75日間
- 工事費：約800万
- 施工面積：約22坪

リフォームの現場から

駆体にヒバ材を用いることで防虫効果を高め、健康に配慮した点に注目！ 屋根裏の倉庫にもその恩恵があり二重の効果がある。
工場裁断の木材やパネル化された壁材の使用で、工期短縮、人件費削減につながった。
沖縄独特のRC造陸屋根の住宅に、おしゃれなリフォーム例を提示したともいえる。

立ち上がって歩けるくらい大きなスペースに壁を設けず大きなスペースにする。この年々、増える一方の書類や季節ものの荷物保管する倉庫として利用する。駆体に使用したヒバ材の香りで包まれているため、虫がつかない。折るための裏へは収納可能な折り畳み式の階段でアクセスする。木造の特徴を生かしながらRC造と木造の組み合わせでユニークな外観のみならず、RC造の独特な組み合わせで仕上げられた。